



ヤフー株式会社

2011年度 第2四半期
決算説明会

2011年10月21日

YAHOO!
JAPAN

本説明会および参考資料の内容には、将来に対する見通しが含まれている場合がありますが、実際の業績は様々な要素により、これら見通しと大きく異なる結果となり得ることをご了承ください。

会社の業績に影響を与え得る事項の詳細な記載は「平成24年3月期 第2四半期決算短信」の「事業等のリスク」にありますので、ご参照ください。但し、業績に影響を与え得る要素は「事業等のリスク」に記載されている事項に限定されるものではないことをご留意ください。

本資料・データの無断転用はご遠慮ください。



2011年度第2四半期業績総括

ディスプレイ広告、リスティング広告、ゲーム関連サービスを
中心に、売上高、利益ともに前年同四半期比・前四半期比で
増加した。

*2010年度中にリサーチ事業を(株)マクロミルに移管したこと、(株)ニュースウォッチ株式を売却したこと
により、売上高が前年同四半期比で約5億円減少する等の影響が発生しているが、
利益に与える影響は軽微となった。

単位:億円

	2010年度 第2四半期	2011年度 第2四半期	前年 同四半期比
売上高	711	737	3.7%
営業利益	384	405	5.5%
経常利益	385	410	6.4%
四半期純利益	214	242	13.2%

広告会社経由リスティング広告

(検索連動型広告「スポンサードサーチ」・興味関心連動型広告「インタレストマッチ」)

- ファッション・アクセサリー、通販関連、人材関連の出稿が前年同四半期比で大きく拡大した。
インターネット情報関連、金融関連等の出稿は減少したものの、全体の売上高は前年同四半期比、前四半期比ともに増加した。

ディスプレイ広告

- 売上高は前年同四半期比、前四半期比で増加した。
自動車関連や金融関連の出稿は前年同四半期比で減少したが、不動産関連、食品等セクターの出稿が大きく増加した。

*2010年度中にリサーチ事業を(株)マクロミルに移管したことにより、売上高が前年同四半期比で約3億円減少する等の影響が発生しているが、利益に与える影響は軽微となった。

単位: 億円

メディア事業	2010年度 第2四半期	2011年度 第2四半期	前年同四半期比
売上高	264	270	2.2%
営業利益	139	147	5.5%



2011年度第2四半期 BS事業

オンライン経由リスティング広告 (検索連動型広告「スポンサードサーチ」・興味関心連動型広告「インタレストマッチ」)

- ファッション・アクセサリ、通販関連、人材関連の投稿が前年同四半期比で大きく拡大し、売上高は前年同四半期比・前四半期比ともに増加した。

データセンター関連収入

- (株)IDCフロンティアのクラウドコンピューティング関連収益が増加した。

情報掲載料収入

- 「Yahoo!不動産」「Yahoo!リクナビ」の売上高が前年同四半期比・前四半期比で増加した。

単位:億円

BS事業	2010年度 第2四半期	2011年度 第2四半期	前年同四半期比
売上高	190	205	7.9%
営業利益	94	106	12.8%





2011年度第2四半期 コンシューマ事業

コマース関連 (「Yahoo!オークション」・「Yahoo!ショッピング」・有料デジタルコンテンツ)

- 「Yahoo!モバゲー」「戦国IXA」等のゲーム関連サービスの好調により、有料デジタルコンテンツの売上高が前年同四半期比・前四半期比ともに大きく増加した。
- 「Yahoo!ショッピング」取扱高は前年同四半期比・前四半期比で増加した。
- 「Yahoo!オークション」取扱高は落札単価上昇に伴い、前年同四半期比で増加した。
「Yahoo!オークション」「Yahoo!ショッピング」ともにスマートフォン経由の取扱高が大きく拡大した。
- 主に「Yahoo!ショッピング」の販売促進を活発に行ったため、コンシューマ事業セグメントの営業利益が前年同四半期比でわずかに減少した。

会員サービス収入

- 2011年9月末のプレミアム会員ID数は775万IDとなった。

単位:億円

コンシューマ事業	2010年度 第2四半期	2011年度 第2四半期	前年同四半期比
売上高	254	260	2.5%
営業利益	168	163	-3.0%





2011年度第2四半期レビュー

広告、ゲーム関連サービス、情報掲載の売上高が前年同四半期比で増加。売上高は見通しのレンジの中間値を上回った。

「Yahoo!ポイント」付与等の販売促進を行ったが、業務委託費等が最終的に見通しを下回ったため、利益は見通しの上限値を上回った。

単位:億円

	実績	四半期見通し (2011年7月22日時点)
売上高	737	714 ~ 749
営業利益	405	380 ~ 402
経常利益	410	384 ~ 406
四半期純利益	242	227 ~ 240



2011年度第3四半期見通し

広告、ショッピング関連およびゲームを中心とした有料デジタルコンテンツを中心に、売上高の増加を目指す。

特に年末商戦を迎えるeコマース事業については、積極的に販売促進活動を行うことにより、取扱高の拡大を目指す。

尚、検索連動型広告配信システムの切り替えを今四半期中に行う予定。

単位:億円

	2010年度 第3四半期 (実績)	2011年度 第2四半期 (実績)	2011年度 第3四半期 (見通し)
売上高	750	737	751 ~ 790
営業利益	411	405	412 ~ 436
経常利益	413	410	417 ~ 441
四半期純利益	247	242	246 ~ 261

- 当グループを取り巻く事業環境は短期的に大きく変動する可能性があり、通期の業績見通しについて信頼性の高い数値を算出することは極めて困難であると考えています。従いまして、当グループは四半期ごとの業績発表に併せて翌四半期の業績見通しのみを公表することとしています。



eコマース事業における取組み

拡大を続けるeコマース市場の需要を取り込むため、様々な拡販策を実施した。

プラットフォームの改善による利便性の向上

「Yahoo!オークション」「Yahoo!ショッピング」のプラットフォームの整理、操作性の改善を段階的に実施する予定。
スマートフォン対応の強化も予定。

オークション

・競りによって落札する商品と即決価格で
購入できる商品の売り場をタブにより明確に整理
ショッピング

・年末商戦に向けSNSを活用した
ソーシャルコマースを推進



オープン化による外部パートナーとの連携

- ・(株)ローソン、(株)ジェーシービー等の
実店舗ネットワークを持つ大手パートナーとの連携、
地域生活圏情報サービスへの展開
- ・カルチュア・コンビニエンス・クラブ(株)、
(株)スタートトゥデイ等の運営サービスとのID・ポイント連携



Y! (株)ジェーシービーとの業務提携

O2O(Online to Offline)の波

消費者の購買行動において、オンラインの情報がオフラインの購買活動に与える影響が拡大中。

オンラインにおける「Yahoo! JAPAN」の強み、(株)ジェーシービーの持つ実店舗の加盟店ネットワークの強みを活かし、消費者・加盟店舗にとって有益・便利なサービスを展開することにより、eコマース、地域生活圏情報サービスの分野における収益機会の拡大を目指す。

提携の骨子

- ・ID、ポイント連携
- ・新「Yahoo!カード」の発行
- ・JCBネットワーク加盟店の「Yahoo!口コ」への登録推進



O2O(Online to Offline)イメージ

Y! ゲーム事業における取組み

(株)スクウェア・エニックスとの協業により、新たなパソコン向けブラウザゲーム「MONSTER×DRAGON(モンスタードラゴン)」の提供を発表。

10月13日よりクローズド テストを開始。

30代以上をメインの利用者層とした「戦国IXA」の成功体験をもとに、10代・20代も含めた利用者層の開拓を目指す。



新しいゲームシステムと美しいイラストが特徴

2011年度第2四半期決算

当四半期末の主な連結子会社

(株)IDCフロンティア

(株)GyaO

(株)ネットラスト

フィードパス(株)

ワイズ・インシュアランス(株)

(株)インディバル

(株)シリウステクノロジーズ

ファーストサーバ(株)

ヤフーカスタマーリレーションズ(株)

ワイズ・スポーツ(株)

当四半期末の持分法適用会社

(株)Eストアー

オリコンDD(株)

(株)クレオ

(株)たびゲーター

フォートラベル(株)

(株)オールアバウト

(株)クラシファイド

JWord(株)

バリューコマース(株)

(株)マクロミル



2011年度第2四半期損益計算書

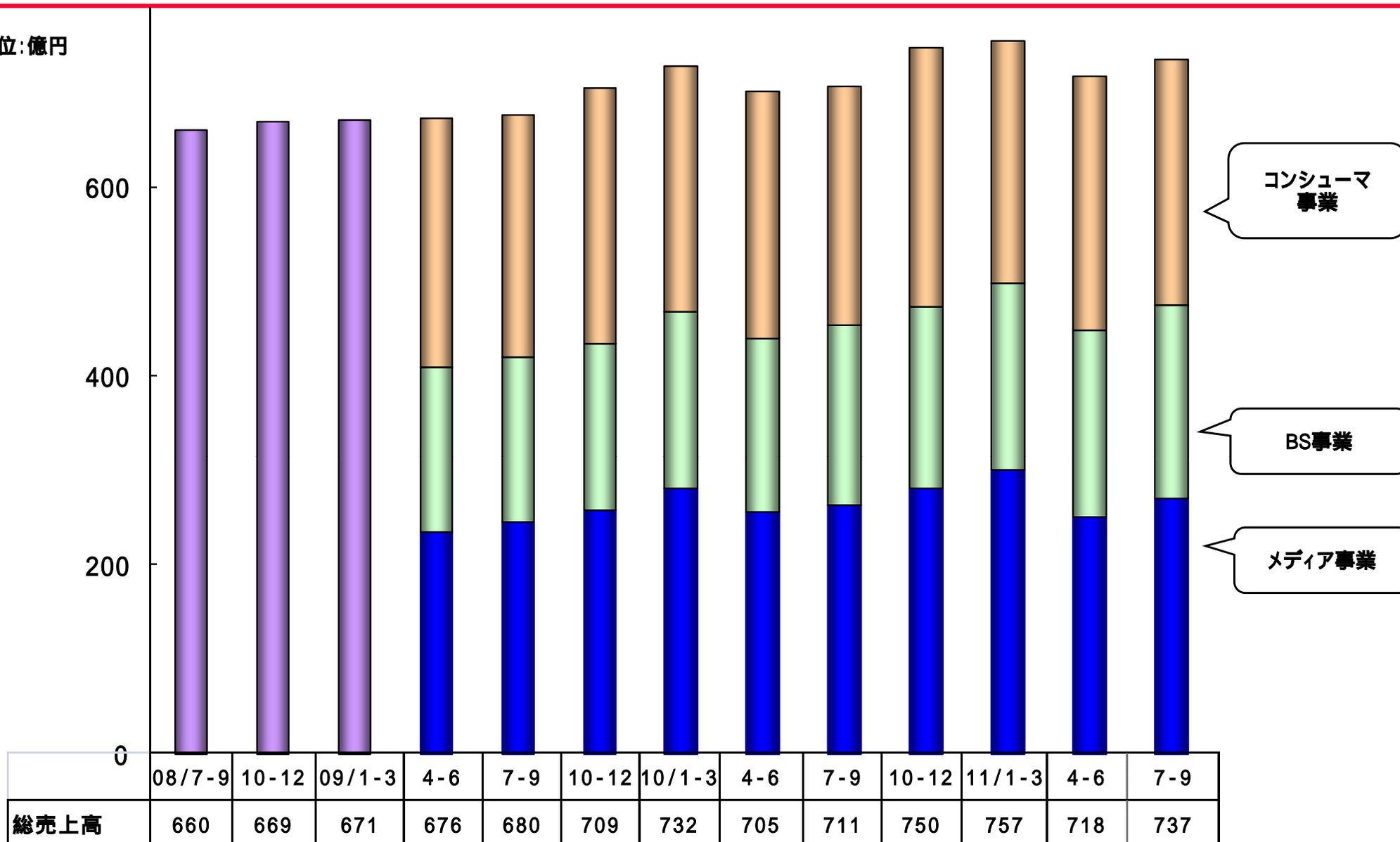
	2010年度 第2四半期	2011年度 第2四半期	前年同四半期比
売上高 (億円)	711	737	3.7 %
売上原価 (億円)	73	69	-5.4 %
売上総利益 (億円)	637	668	4.8 %
販管費 (億円)	253	262	3.7 %
営業利益 (億円)	384	405	5.5 %
経常利益 (億円)	385	410	6.4 %
四半期純利益 (億円)	214	242	13.2 %
完全希薄化後 EPS (円)	369	418	13.2 %
完全希薄化後株式数 (万株) *	5,804	5,800	-0.1 %

* 完全希薄化後株式数は自己株式を除いています。



四半期売上高推移

単位: 億円



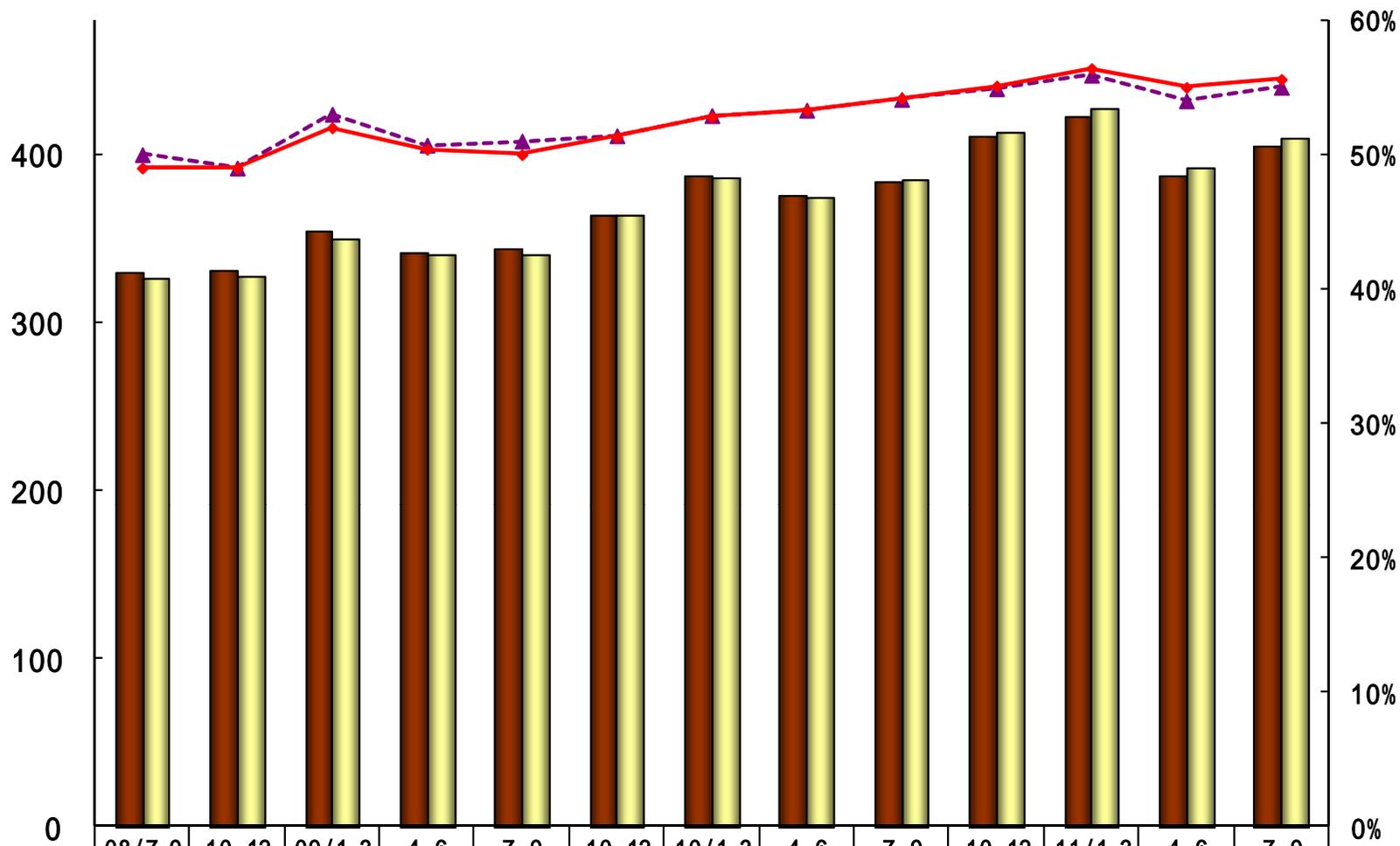
2010年4-6月より、報告セグメントを「メディア事業」「BS事業」「コンシューマ事業」に変更しています。
 尚、2009年度のセグメント別売上高の数値は遡及修正によるものです。





四半期利益推移

単位: 億円



■ 営業利益	330	331	355	342	344	364	387	376	384	411	423	388	405
■ 経常利益	326	328	350	340	341	364	386	375	385	413	427	392	410
-▲- 売上高営業利益率	50%	49%	53%	51%	51%	51%	53%	53%	54%	55%	56%	54%	55%
◆ 売上高経常利益率	49%	49%	52%	50%	50%	51%	53%	53%	54%	55%	56%	55%	56%



2011年度第2四半期収益内訳

単位:億円

	売上高	主な内訳		売上原価	販管費	営業利益	経常利益	営業利益率	経常利益率
メディア事業	270	広告関連 その他	97% 3%	26	96	147	147	54.4%	54.5%
BS事業	205	広告関連 法人向けサービス 情報掲載サービス	65% 22% 13%	38	61	106	106	51.6%	51.9%
コンシューマ事業	260	コマース関連 会員サービス 広告関連 その他	57% 36% 3% 4%	4	92	163	162	62.6%	62.5%
総合計	737			69	262	405	410	55.0%	55.6%

*各セグメント売上高に含まれる商品項目については、P28をご参照ください。



販管費構成推移

単位: 億円

主な前年同四半期比増減要因

	10/2Q	11/1Q	11/2Q	構成比	前四半期比増減率	前年同四半期比増減率
人件費	80	84	81	31.2%	-3.0%	2.3%
業務委託費	32	35	37	14.2%	4.0%	13.7%
販売促進費	15	25	25	9.6%	-2.0%	66.4%
減価償却費	20	20	21	8.1%	5.4%	2.6%
ロイヤルティ	20	20	21	8.1%	2.3%	4.0%
賃借料・水道光熱費	15	16	17	6.5%	4.6%	9.7%
情報提供料	16	14	16	6.2%	11.5%	-2.3%
通信費	21	14	15	5.8%	7.3%	-27.7%
販売手数料	11	11	11	4.6%	7.7%	8.4%
維持管理費	5	5	5	2.1%	-2.4%	7.8%
租税公課	3	2	3	1.3%	16.1%	9.1%
広告宣伝費	4	4	2	0.9%	-40.0%	-40.4%
支払報酬	1	1	1	0.5%	-9.2%	18.9%
ライセンス料	0	0	1	0.4%	18.8%	114.4%
その他	5	4	1	0.5%	-70.4%	-77.1%
販管費合計	253	262	262	100.0%	0.0%	3.7%

保守・運用にかかわる費用の増加

「Yahoo!ツールバー」等による検索サービスの利用促進にかかわる費用や「Yahoo!ポイント」の費用が増加

データセンターの自己保有により運用体制が効率化



2011年度第2四半期貸借対照表

主な科目	2010年9月末	2011年9月末	増減	主な増減要因	単位:億円
< 資産の部 >					
流動資産	1,951	2,756	804	営業活動による増加	
現金及び預金	1,362	2,131	768		
売掛金	333	346	13	データセンターの建設およびサーバー、ネットワーク機器の購入	
固定資産	2,184	2,237	52		
有形固定資産	276	322	46	(株)IDCフロンティアに対する法人税の更正 処分に伴うのれんの減額修正	
無形固定資産	144	116	-28		
投資有価証券	1,625	420	-1,204	BBモバイル(株)株式をソフトバンク(株)に売却	
長期未収入金	-	1,235	1,235		
資産の部合計	4,135	4,993	857		
< 負債の部 >					
流動負債	758	826	67	データセンター建設にかかわる債務の増加	
未払金	132	154	21		
未払法人税等	295	313	18		
固定負債	24	26	2		
負債の部合計	782	853	70		
< 純資産の部 >					
株主資本	3,314	4,103	789	配当金の支払いにより減少するも、純利益の計上により増加	
資本金	75	79	3		
資本剰余金	26	30	3		
利益剰余金	3,268	4,050	781		
その他の包括利益累計額	8	5	-2		
少数株主持分	24	23	-0		
純資産の部合計	3,352	4,140	787		
負債純資産合計	4,135	4,993	857		



2011年度第2四半期キャッシュ・フロー

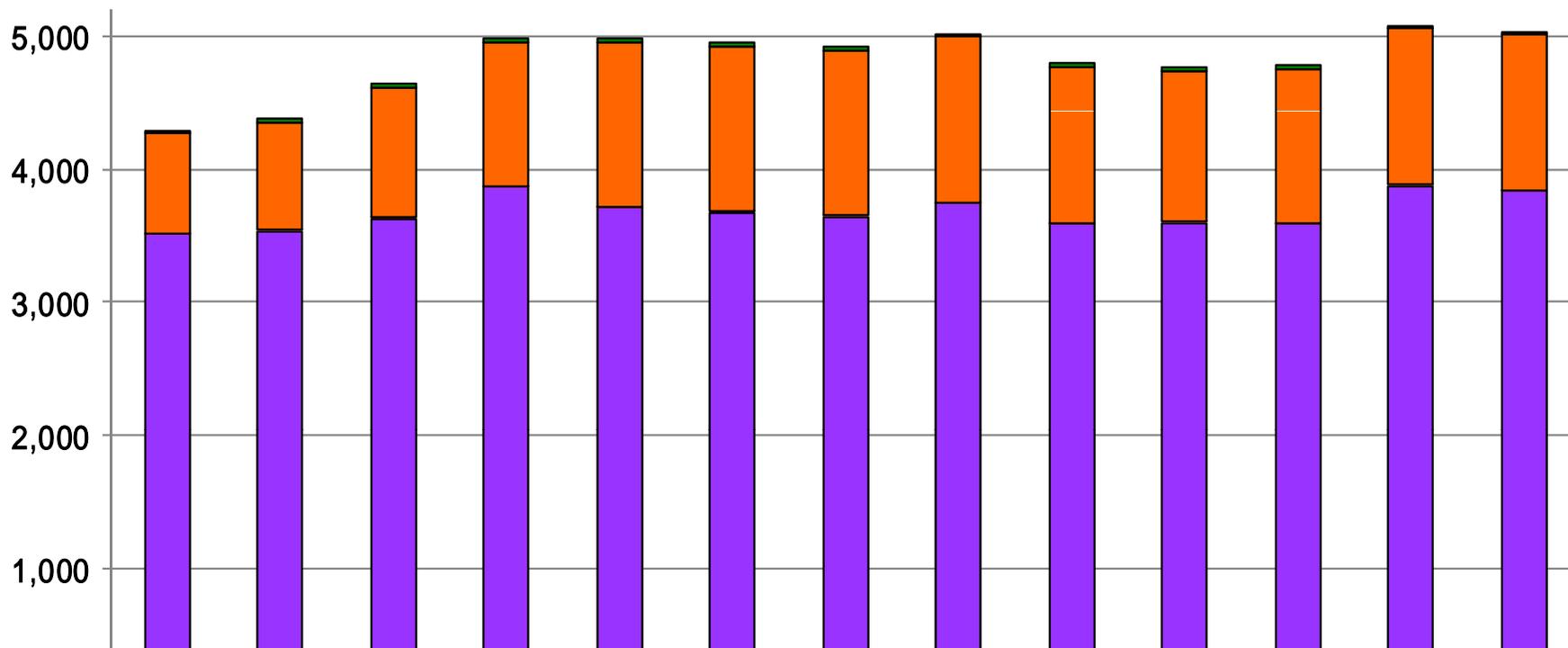
主な項目	2011年7-9月	主な増減要因	単位:億円
営業活動によるキャッシュ・フロー	405		
税金等調整前四半期純利益	408	税引前四半期純利益の計上	
減価償却費	25		
売上債権	-11		
仕入債務	5		
投資活動によるキャッシュ・フロー	-26		
有形固定資産の取得	-18	サーバー等設備の取得	
無形固定資産の取得	-6		
財務活動によるキャッシュ・フロー	0		
キャッシュ・フロー増減額	378		



役職員数推移

単位:人

(四半期末人員数)



上記の従業員数は出向者を含んでいます。



添付資料



リスティング広告売上高の業界別シェア

広告売上高の増加額(前年同四半期比)が大きかった業界

ファッション・アクセサリ
百貨店、通販、ショッピングモール
各種人材サービス

広告売上高の減少額(前年同四半期比)が大きかった業界

情報処理サービス・ソフト会社、インターネット情報サービス
金融・保険・証券(含消費者金融)

	10/2Q	3Q	4Q	11/1Q	2Q
金融・保険・証券(含消費者金融)	11.4%	10.6%	10.7%	10.4%	10.3%
交通・レジャー	10.5%	8.2%	8.2%	7.9%	10.0%
化粧品、生活用品、健康食品、健康器具	7.1%	7.1%	6.3%	7.1%	7.2%
医療、福祉/美容、健康サービス	6.9%	6.2%	6.3%	6.9%	7.0%
百貨店、通販、ショッピングモール	6.1%	7.4%	6.8%	7.3%	6.8%
不動産・住宅・住宅設備	6.2%	6.0%	8.0%	6.1%	6.5%
ファッション・アクセサリ	4.6%	5.0%	4.7%	5.1%	5.7%
各種教育サービス・大学等	6.2%	5.1%	6.1%	5.5%	5.6%
各種人材サービス	3.3%	3.1%	4.2%	3.6%	4.0%
情報処理サービス・ソフト会社、インターネット情報サービス	4.2%	6.1%	5.9%	5.6%	3.4%
インテリア、ガーデニング、リフォーム、DIY用品	3.0%	2.9%	2.9%	3.6%	3.3%
自動車・関連品(輸送用機器)	2.8%	2.9%	3.3%	2.9%	2.9%
その他	27.7%	29.4%	26.6%	28.0%	27.3%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

Y! ディ스플레이広告売上高の業界別シェア

広告売上高の増加額(前年同四半期比)が大きかった業界

不動産・建設
食品
交通・レジャー

広告売上高の減少額(前年同四半期比)が大きかった業界

自動車・関連品(輸送機器)
金融・保険・証券(含消費者金融)
インターネット情報サービス・メールサービス

	10/2Q	3Q	4Q	11/1Q	2Q
金融・保険・証券(含消費者金融)	16.8%	15.3%	16.1%	14.9%	14.2%
不動産・建設	9.3%	8.0%	11.8%	10.3%	10.9%
自動車・関連品(輸送用機器)	13.3%	12.6%	12.8%	9.1%	10.4%
化粧品・トイレタリー	9.3%	7.9%	6.7%	12.0%	9.6%
交通・レジャー	7.2%	7.4%	7.6%	7.0%	7.7%
食品	4.5%	5.2%	4.8%	6.9%	6.3%
飲料・嗜好品	4.1%	3.7%	4.0%	4.2%	4.4%
ファッション・アクセサリ	3.6%	4.8%	2.8%	4.4%	3.8%
コンピュータ・コンピュータ関連・事務機器	2.9%	2.7%	2.8%	2.0%	3.3%
薬品・医療用品	3.3%	2.4%	2.2%	2.0%	3.0%
移動体通信サービス	3.1%	4.7%	5.7%	3.1%	3.0%
インターネット情報サービス・メールサービス	3.7%	5.3%	5.0%	7.0%	2.5%
その他	18.9%	20.0%	17.7%	17.1%	20.9%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

■上記は広告内容により分類しています。



四半期事業データ

項目(四半期平均)	2010年7-9月	2011年7-9月
Yahoo! JAPAN 月間総ページビュー数 (百万PV)	48,819	52,160
モバイルフォン 月間ページビュー数 (百万PV)	8,094	10,957
Yahoo! JAPAN 月間ユニークブラウザ数 (百万ブラウザ) (1)	222.03	255.94
Yahoo! JAPAN 月間アクティブユーザーID数 (百万ID) (2)	24.26	25.76
Yahoo!プレミアム会員ID数 (四半期末)(百万ID)	7.63	7.75

(1) 各月中に当社サービスにアクセスしたブラウザ数

(2) 各月中にログインしたYahoo! JAPAN ID数

注: Yahoo! JAPAN 月間総ページビュー数については、利用状況をより正確に反映したデータを開示するため、ツールバー起動時に発生するページビュー数等を計測対象から除いています。



四半期事業データ

項目 (四半期平均)	2010年7-9月	2011年7-9月
Yahoo!オークション		
月間ユニークブラウザ数 (百万ブラウザ)	36.92	39.57
ストア数 (四半期末)(店舗)	17,393	17,542
取扱高(四半期計)(億円)	1,566	1,611
落札単価 (円)	4,723	4,911
落札率 (%)	13	12
ショッピング関連		
月間ユニークブラウザ数 (百万ブラウザ)	33.60	39.33
ストア数 (四半期末)(店舗)	17,834	20,625
取扱高(四半期計)(億円) (1)	693	737
Yahoo!オークション+ショッピング関連		
取扱高(四半期計)(億円)	2,260	2,349
モバイル取扱高(四半期計)(億円) (2)	412	579

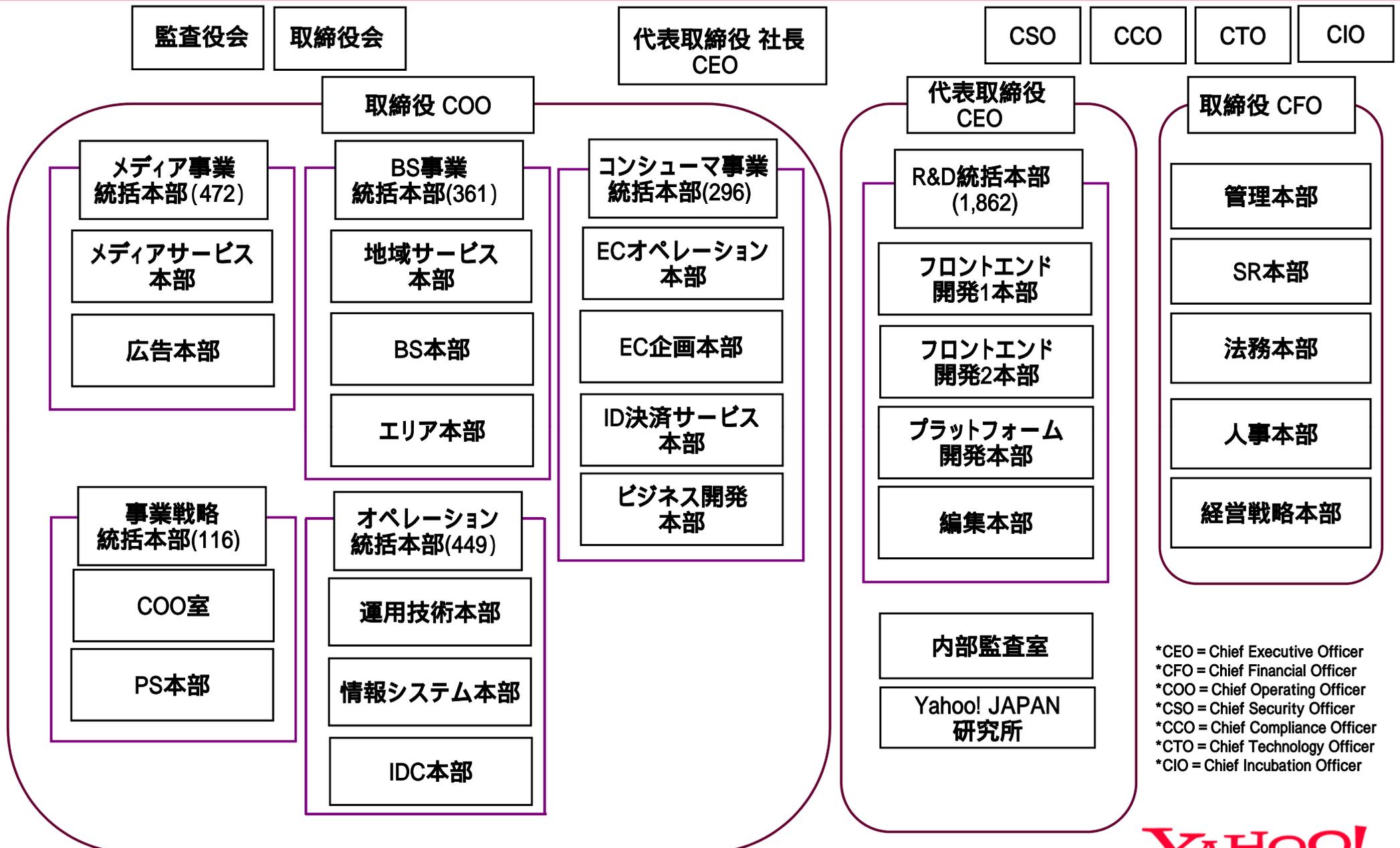
(1) 「Yahoo!ショッピング」、「Yahoo!チケット」、「Yahoo!トラベル」を含む。

(2) 「Yahoo!オークション」モバイル取扱高は、従来、最終入札がモバイル経由の場合のみ集計していましたが、2011年1月より、モバイル経由の入札を全て集計するよう定義を変更しました。尚、過去のデータは遡及修正していません。





組織図(単体ベース)

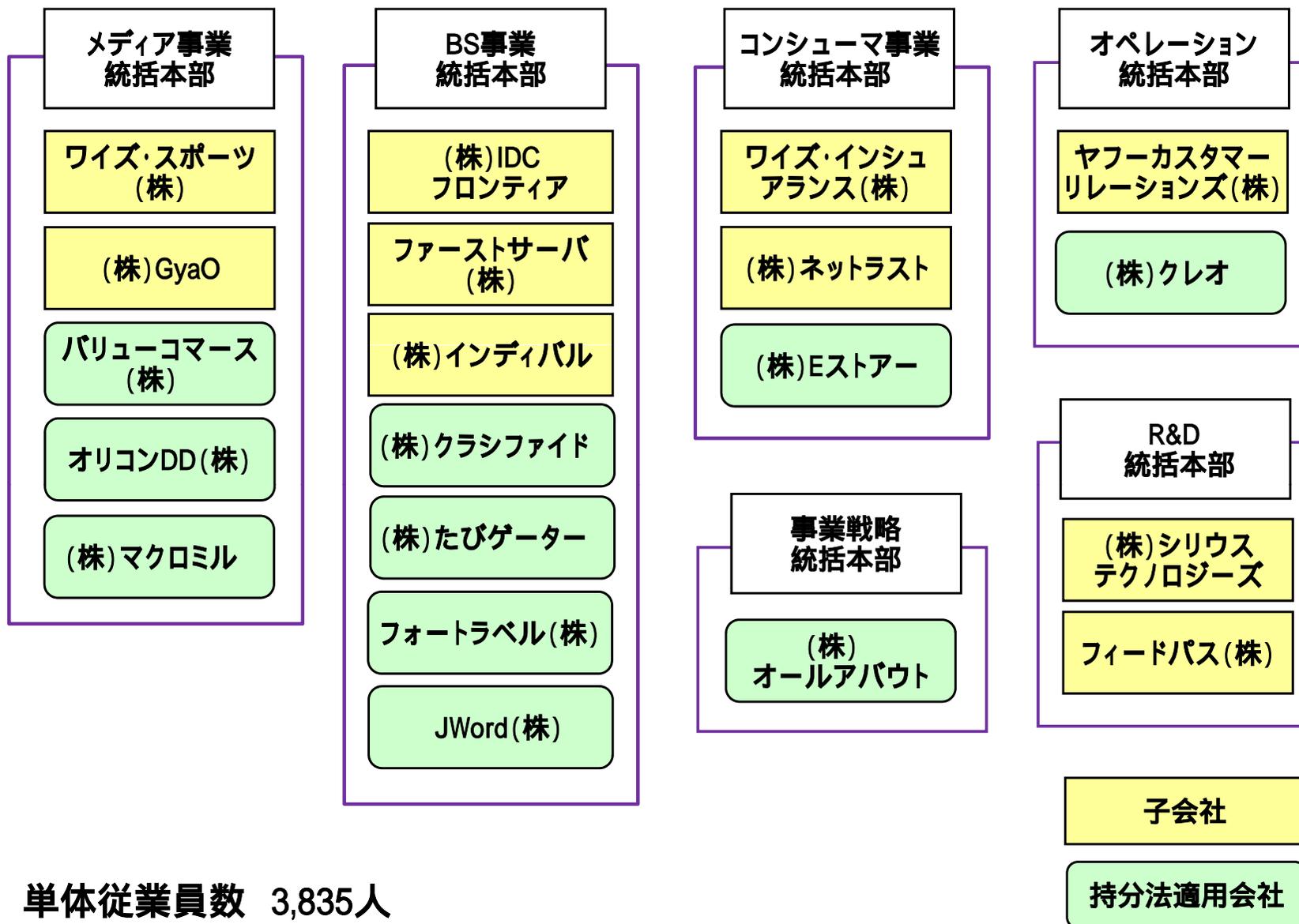


*CEO = Chief Executive Officer
 *CFO = Chief Financial Officer
 *COO = Chief Operating Officer
 *CSO = Chief Security Officer
 *CCO = Chief Compliance Officer
 *CTO = Chief Technology Officer
 *CIO = Chief Incubation Officer





主なグループ企業



単体従業員数 3,835人
連結従業員数 5,008人 (2011年9月末現在)



各セグメントに含まれる主な商品項目

メディア事業

広告関連

リスティング広告(広告会社経由)
ディスプレイ広告(バナー、テキスト、メール、映像)

BS事業

広告関連

リスティング広告(オンライン経由)

法人向けサービス

データセンター関連、「Yahoo!ウェブホスティング」、「Yahoo!トラベル」等

情報掲載サービス

「Yahoo!不動産」、「Yahoo!リクナビ」等

コンシューマ事業

コマース関連

「Yahoo!オークション」「Yahoo!ショッピング」のテナント料・システム利用料
決済関連、有料デジタルコンテンツ等

会員サービス

「Yahoo!プレミアム」、「Yahoo! BB」ISP料金、「Yahoo!パートナー」等

広告関連

ディスプレイ広告等

その他

「Yahoo! BB」インセンティブ等



当グループのWeb上のIR情報は、以下のURLをご参照ください。

<http://ir.yahoo.co.jp/>